

法人名：

公益財団法人 秋田県林業公社

設立年月日

昭和41年4月1日

1 法人の概要

代表者職氏名	理事長 齊藤 正喜	基本財産等	10,000千円	県出資等額及び比率	10,000千円	(100.0%)	所管部課名	農林水産部林業木材産業課					
設立目的	県内の未利用原野や低質広葉樹林などにおいて、経済性の高い森林の造成を通じ、国土の保全と農山村経済の振興を図ることを目的に設立。												
事業概要	1. 分収林整備事業、2. 森林資源の調査に関する事業、3. 森林・林業の普及啓発に関する事業												
関連法令、県計画	分収林特別措置法												
役員数 (R6. 7. 1現在)	理事		監事		評議員		計		職員数 (R6. 4. 1現在)	正職員	出向職員	臨時・嘱託	計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤		11	1(1)	4	16(1)
	1	5		2		5	1	12		※役員と職員を兼ねている者の人数は、役員と職員の両方に計上し、職員数には括弧（内数）で表示。			

2 法人の行動計画(令和4～7年度)

県関与のあり方	継続	経営状況	健全化が必要	取組の方向性	・要経営改善 ・公益的事業の安定実施
目標	○「第11次長期経営計画」Ⅱ基本方針の【重点事項】に基づき、分収造林契約の変更等により、収支を改善するとともに、市場のニーズに対応する計画的かつ効率的な森林施業を展開する。				
取組	○収支の改善に向け、分収契約期間の延長や針広混交林化施業の同意に取り組む。 (1) 分収契約期間の延長（50年→80年） 【目標】 R4年度：104ha、R5年度：20ha、R6年度：20ha、R7年度：20ha (2) 分収割合の変更（林業公社分6割→7割） 【目標】 R4年度：24ha、R5年度：20ha、R6年度：20ha、R7年度：20ha (3) 針広混交林化・広葉樹林化施業の同意 【目標】 R4年度：4ha、R5年度：20ha、R6年度：20ha、R7年度：20ha (4) 除地協定の締結 【目標】 R4年度：47ha、R5年度：20ha、R6年度：20ha、R7年度：20ha ○市場ニーズに対応した森林施業を展開するため、収穫間伐事業に取り組む。 (1) 収穫間伐事業の実施 【目標】 R4年度：706ha、R5年度：784ha、R6年度：680ha、R7年度：692ha				

3 財務

①正味財産増減計算書

(単位:千円)

区 分	令和4年度	令和5年度
経常収益	470,563	501,544
基本財産・特定資産運用益		
受取会費・受取寄附金		
受託事業収益	14,742	10,454
自主事業収益	451,187	481,517
受取補助金・受取負担金		
その他の収益	4,634	9,573
経常費用	801,957	897,090
事業費	691,176	774,062
管理費	110,781	123,028
人件費(事業費分含む)	70,301	78,780
森林資産勘定振替額	341,991	408,772
当期経常増減額	10,597	13,226
経常外収益	20,119	7,350
経常外費用	42,602	25,282
当期経常外増減額	△ 22,483	△ 17,932
当期一般正味財産増減額	△ 11,886	△ 4,706
当期指定正味財産増減額	353,399	405,827
当期正味財産増減額合計	341,513	401,121

②貸借対照表

(単位:千円)

区 分	令和4年度	令和5年度
流動資産	377,629	402,331
固定資産	64,770,443	65,227,520
資産計	65,148,072	65,629,851
流動負債	642,184	615,426
短期借入金	535,050	490,551
固定負債	42,416,986	42,524,401
長期借入金	36,505,791	36,614,925
負債計	43,059,170	43,139,827
指定正味財産	22,255,910	22,661,737
うち基本財産充当額	10,000	10,000
一般正味財産	△ 167,007	△ 171,713
うち基本財産充当額		
正味財産計	22,088,903	22,490,024
負債・正味財産計	65,148,073	65,629,851

※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

③県の財政的関与の状況(事業費補助・委託を除く)

(単位:千円)

区 分	令和4年度	令和5年度	支出目的等
年間支出			
年度末残高	37,040,841	37,105,475	秋田県林業開発基金（秋田県林業開発資金貸付金）、日本政策金融公庫借入金損失補償

<主な経営指標>

項 目	令和4年度	令和5年度	増減※
経常収支比率 (経常収益÷経常費用)	58.7%	55.9%	△2.8
流動比率 (流動資産÷流動負債)	58.8%	65.4%	+6.6
自己資本比率 (純資産計÷負債・純資産計)	33.9%	34.3%	+0.4
有利子負債比率 (有利子負債÷純資産計)	26.4%	23.5%	△2.9

※端数処理の関係で増減が一致しないことがある。

<退職給与引当状況(単位:千円)>

要支給額	引当額	引当率(%)
9,744	9,744	100.0%

法人名：

公益財団法人 秋田県林業公社

I 自己評価

1 行動計画における目標及び取組の達成状況	2 経営状況
【令和5年度実績】 ○分収契約期間の延長（50年→80年）：22ha（前年度：104ha、目標：20ha） ○分収割合の変更（林業公社分6割→7割）：20ha（前年度：24ha、目標：20ha） ○針広混交林化・広葉樹林化施業の同意：20ha（前年度：4ha、目標：20ha） ○除地協定の締結：22ha（前年度：47ha、目標：20ha） ○収穫間伐事業の実施：746ha（前年度：706ha、目標：784ha）	【令和5年度実績】 ○経常収益：501,544千円 ○経常費用：897,090千円 ○森林資産勘定振替額：408,772千円（前年度：341,991千円） ○当期経常増減額：13,226千円（前年度：10,597千円）
【自己評価】 ○分収造林契約の変更については、土地所有者との交渉を順調に進めた結果、行動計画における目標を達成することができた。 ○収穫間伐事業の実施については、令和5年7月の大雨災害の影響により目標を達成することができなかったが、代替地での実施など、達成に向けた取組を進めてまいりたい。	【自己評価】 ○当期経常増減額は、販売用資産売却収入及び間伐材販売収入の増により13,226千円の黒字となった。 ○経常増減額は黒字となったが、森林資源が主伐期を迎えていないことから伐採収入を確保できず、引き続き、県借入金が必要としている。 ○林業公社会計基準の適用により408,772千円を森林資産勘定へ振り替えることで経常収支比率が±5%以内になることから、単年度損益の収支均衡が図られているとしてB評価とする。

II 所管課評価

1 行動計画における目標及び取組の達成状況	2 経営状況
【所管課評価】 ○目標が未達成となった収穫間伐事業の実施については、災害発生時など不測の事態への備えを進めながら目標達成に取り組んでいただきたい。	【所管課評価】 ○林業公社会計基準の適用による森林資産勘定振替（408,772千円）により、単年度損益の収支均衡が図られているが、引き続き、県借入金が必要とする財務状況が続いており、長期経営計画に基づく事業を着実に進め、累積債務の解消に取り組んでいただきたい。

III 委員会評価

総合評価	法人全体の取組・運営状況に関するコメント
B	○行動計画に定める目標については概ね達成できていることから、公益的事業の安定実施に努めていると評価できる。 ○一方で、経営状況については県借入金を必要とする財務状況が継続していることから、収穫間伐事業の確実な実施等により、借入金の圧縮に努めてもらいたい。
【委員からの提言】 ○法人が策定する長期経営計画に基づき、経営状況の改善に向けた取組を着実に進めてもらいたい。	

委員会評価を踏まえた対応方針

法人の対応方針	所管課の対応方針
○事業執行体制の整備や木材市況の把握に努めながら、長期経営計画に基づく収穫間伐事業等を着実に実施し、経営状況の健全化を図る。	○収穫間伐事業の実施に加え、適切な森林管理によるCO2等の吸収量を国が認証する「J-クレジット」の販売等による収益確保に努めていただきたい。